




論文審査結果の要旨および担当者

報告番号	※甲第 188 号	氏 名	佐藤 伸輔
論文審査担当者	主 査 教授	大河原 雄一	
	副 査 教授	丹野 孝一	
	副 査 教授	高橋 知子	
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>佐藤伸輔氏の研究内容は、精神的ストレス負荷が免疫寛容の成立を抑止し、好酸球・好中球炎症性の喘息病態を形成すること見出し、その発症に至るメカニズムを喘息マウスモデルにて解析したものである。</p> <p>この研究により、精神的ストレスが、免疫寛容の誘導を抑制すると同時に17型ヘルパーT細胞（Th17）の分化を促進させ、好酸球・好中球混合喘息に至る免疫応答を引き起こすことを明らかにした。また、この免疫応答が、ストレス負荷によるIL-1β産生増加が原因となって起きることをIL-1β受容体アンタゴニストを用いて明らかにした。これらのことから、ヒトにおいても精神的ストレスによるIL-1β産生増強が、難治性喘息の病態である好酸球・好中球混合型の気道炎症を発症させることが示唆された。</p> <p>本研究は、精神的ストレスが好酸球・好中球喘息の発症因子になりうることを示したはじめての知見である。</p> <p>以上の成果は、International Archives of Allergy and Immunology (IF: 3.767) 誌に掲載され、高い評価を得ている。以上より、本申請の内容は博士（薬学）の学位授与に値するものと判断された。</p>			